

令和3年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 四万十市 (都道府県: 高知県)
 本事業の担当部局名 子育て支援課

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	結婚に対する取組		
関連事業メニュー	2.1.3 その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組		
個別事業名	四万十市出会いサポート事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
対象経費支出予定額 ※(注)1	566,400 円		
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	四万十市では平成23年度より年間2回程度の男女各20名程度が参加する婚活イベントを実施している。また、令和2年3月に策定した「第2期四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、 基本目標1 地産外商により安定した雇用を創出する 基本目標2 新しい人の流れをつくる 基本目標3 若い世代の結婚・出産・妊娠・子育ての希望をかなえる 基本目標4 地域にあった小さな拠点をづくり、まちとの連携により市民の暮らしを守る の4つの基本目標を掲げており、本事業は、基本目標3に位置づけられ、人口減少克服における重要課題の一つとして、出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援策の強化を位置づけ、子育てしやすい環境づくりのほか、総合的な結婚支援に取り組むこととしている。		

個別事業の内容	(個別事業の内容) ※(注)3 <現状と課題> 平成27年度から婚活事業に取り組んでいるが、婚活イベントに複数回参加するもカップリングまでいかない方(交際まで結びつかない方)が多いため、出会いの場(婚活イベント)に参加していただくに当たり、事前セミナーの開催により参加者の気づきやスキルアップを図ると共に、個人に寄り添ったサポートを図りながら結婚に向けた機運を醸成していく必要がある。令和2年度においては、男女別のセミナーを実施し非常に好評であった。リモートでのセミナー参加を可能にするなど、内容を充実化したセミナーを開催する。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、大人数が集まるイベントに参加できない者も多いことから、少人数引合せについて拡充し、婚活サポーターの支援のもと、1対1や2対2での引き合わせなどを数多く実施して、結婚につながるよう支援を行っていく。						
	<課題への対応> (1)スキルアップセミナー付き交流イベント: サポート希望者や独身男女を対象に専門知識を持つ講師による男女交際に必要なスキルや恋愛力の向上を図るためのセミナー及び交流イベントを実施する。令和2年度においては、男女別のセミナーを各2回実施し非常に好評であった。令和3年度も引き続き男女別のセミナーを実施するが、さらなる充実化を図るために回数を各3回とし、意識の向上を図るとともに交流会参加者の人数増を図る。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、リモートでのセミナー参加が可能な状態での実施を検討する。なお、実施の日時については、参加希望者や婚活支援を行う関係者等に聞き取り、検討した上で、最も効果的となる開催日及び実施内容を決定する。 ○事前セミナー(10名×6回) 男女別に各3回 ※交流イベントに参加する方には必ず2回以上はセミナーに参加していただく。 セミナー内容(想定): 男女別に会話力、マナー、メイク等 (※講師実績やセミナー内容に精通した方を講師として想定) ○交流イベント(男女各15名) ※セミナーや交流イベントの内容は、参加希望者や活支援をしている者への聞き取りなどにより検討する。 (2)個人サポート: 希望する者に対してセミナー講師や婚活支援を行うサポーターのスキルアップに向けたカウンセリングや助言を実施し、各個人に寄り添った相談対応を行う。令和元年度はセミナー等を夜間に開催したため、サポートは別日に設定したが、セミナー時にも対応できるよう講師やサポーターの時間調整を行うなど効率化を図り、より積極的な活動を後押しする。 ○10名を想定 (3)少人数引き合わせ: (1)の交流イベント参加者のうち、希望する独身男女を対象にプロフィール等を参考に男女各1~3人程度の少人数の引き合わせを実施する。なおイベント参加者のみで人数に満たない場合は、四万十市婚活サポーター等の紹介により一般の独身男女が参加することも可能とする。 新型コロナウイルス感染症の影響により、大人数でのイベントへの参加に抵抗感がある、もしくは職場の制限により参加が難しい者が多く存在している。交流イベントへの参加が難しい者は少人数の引き合わせを行う。 ○男女各3名×5回、男女各2名×10回、男女各1名×35回 (4)県と連携して「こうち出会いサポートセンター」や県及び市の婚活サポーターを紹介、引き合わせや相談等のフォローと共に近隣市町村のイベントへの参加など、幅広くパートナーを探す機会を支援する。						

	セミナー	セミナー	交流イベント	個人サポート	引き合わせ	イベント等支援
対象	男性	女性	男女	希望者	希望者	希望者
実施予定	5月、8月	5月、9月	10月	適宜	年50回	適宜

《経費内訳:566,400円》
 (1)スキルアップ付き交流イベント:407,000円
 広告(情報誌、チラシ) 100,000円、セミナー講師 120,000円(20,000円×6回)、会場代 20,000円、交流会司会 30,000円、
 当日スタッフ 50,000円、消耗品 20,000円、諸経費 30,000円、消費税 37,000円
 ※チラシ500枚を四万十市内、幡多圏域の量販店、公共施設、企業等に配布することを想定。
 (2)個人サポート:59,400円
 サポート講師等件費 希望者1人5,000円×10名=50,000円、諸経費 4,000円、消費税 5,400円
 (3)少人数引き合わせ:100,000円
 立会人件費1,000円×2名×50回

【次年度以降に向けた事業の方向性】
 参加者数や参加者アンケート及び事業に携わった関係者等の意見を踏まえ、効果検証を図りつつ、より効果的な実施方法について検討する。

個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値(H31)	
	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ・他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5 ・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法※(注)6 ・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7 ・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8 ・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	【セミナー】			
・アウトプット:セミナー参加目標人数のべ54名(各回9名)		%	90	110	
・アウトカム:セミナーを友人等に薦めたいと思った参加者		%	80	94	
婚活への意欲が高まった参加者		%	80	80	
【交流イベント】					
・アウトプット:参加目標人数30名		%	100	76	
・アウトカム:婚活イベントの参加を友人等に薦めたいと思った参加者		%	80	96	
結婚に対する活動に前向きになった参加者		%	80	70	
【個人サポート】					
・アウトプット:サポート目標人数10名、達成率100%		%	100	100	
・アウトカム:結婚への意欲が高まった利用者		%	80	100	
交際・結婚や婚活に対する不安が解消された利用者		%	80	100	
【少人数引き合わせ】					
・アウトプット:参加目標人数延べ70名		%	70	-	
・アウトカム:少人数の引き合わせを友人等に薦めたいと思った参加者		%	70	-	
県が実施するこち出会いサポートセンターや婚活サポーターについて周知し、支援に繋げる。					
本事業の実施にあたり、民間事業者等と連携して、セクハラ及びパワハラにならないよう十分配慮のうえ、独身従業者に対して当該事業や市の取組について紹介など実施していただく。					
※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 四万十市企画広報課 (配慮すること) 個人の価値観や選択に十分配慮したうえで実施。					
※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input checked="" type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) セミナー及びイベント、引き合わせの実施 (随契の理由) 受託可能な企業が少なく、複数社による競争見積により契約を予定					
※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 取組名: _____ 有の場合の担当部局: _____					

(注)
 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
 2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分①(結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③重点課題事業、④結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組と連携しているのかを記載すること。
 3「個別事業の内容」には、個別事業の具体的な内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。
 ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。
 4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は、個別事業ごとに効果検証を実施すること。
 ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
 ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
 5「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
 6「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。
 7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。
 8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。
 9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。